

2021年度第2回運営会議議事録

開催日時：2022年2月7日（月）15:00～17:00

開催方法：オンライン会議（ZOOM）

参加者：嘉規会長、小田原・田邊・片桐副会長、梁瀬・浦和部会長、
齋藤国際交流課長補佐、津田係長

配布資料

1. 総会までのスケジュール案
2. 令和3年度決算見込
3. 協会HP新規整備費用各社比較
4. 25周年時の表彰者一覧
5. 2021年度まで会員状況
6. 日本語教室参加数

【1】総会までのスケジュールについて

①新年度の役員体制について

- ・嘉規会長、小田原副会長、田邊副会長、片桐副会長兼事務局長、浦和外国人支援部会長留任。
- ・梁瀬部会長は勇退され、後任に椎名さんを推薦。本人への就任依頼はしていないので、嘉規会長から就任を要請する。

<2月9日追記>椎名さんが交流・相互理解部会長を受諾。

- ・小田原副会長は11月に商工会議所の国際交流委員長を交代するが、きりの良い所まで引き受け、次期委員長と交代する。国際化啓発・広報部会長も引き続き務める。
- ・船橋市地域工業団体より、令和4年度は団体会員・理事ともに辞退したい旨の連絡があった。
- ・船橋ヘイワードフレンドシップクラブの理事は引き続き梁瀬部会長が務める。

(主な意見)

- ・現在の女性役員数（3人）は維持してほしい。
- ・協会の将来のために、各人が真剣に後進を育ててほしい。

②総会までのスケジュール（案）について/理事会・総会の会場確保

運営会議：3月14日（月）、4月8日（金） 時間は後日調整
監 査：4月15日（金）市役所114会議室 午後2時～4時※
理 事 会：4月20日（水）船橋商工会議所501、502 午前10時～※
総 会：5月18日（水）船橋商工会議所6階ホール 午後2時30分～※
懇 親 会：5月18日（水）船橋商工会議所6階懇話室 午後4時～※

上記日程で了承。

※<2月7日追記>開催時間を記載のとおり決定。

会場は、小田原副会長が商工会議所へ依頼。

商工会議所が取れない場合、片桐事務局長が公民館を予約する。

<2月8日追記>理事会、総会の会場を上記のとおり小田原副会長が事前確保済。

③総会理事会の役割分担

小田原副会長 議長
田邊副会長 理事会 司会
浦和部会長 総会 司会

なお、総会は全役員が出席を行う。

④総会懇親会の開催有無について

当座は行う方向としておき、まん延防止措置等の期間に入っているならば中止とする。

⑤まん延防止等重点措置または緊急事態宣言が発令された際の実施方法について

総会資料の送付時にまん延防止等重点措置以上の場合は書面決議とする旨、会員へ通知する。

なお、理事会も同様の対応とする。

【2】令和3年度事業報告、決算見込み(概要)

①今年度の支出見込みについて

事務局より報告のあった決算見込みについて了承した。

②主な事業報告

日本語教室、日本語ひろば等について、浦和部会長が説明。

災害時外国人支援サポーターと外国人防災講座、市民向け「やさしい日本語」講座について片桐事務局長が説明。

【3】令和4年度事業計画・予算計画について

①協会設立 35 周年記念事業について

(案 1) 協会 HP リニューアルを行う。

- ・見積もりを取った 2 社以外にお勧めの業者があれば事務局に紹介して欲しい。
- ・現在の HP では、人的翻訳の整備が進んでいない。もし、機械翻訳を導入するならば、予算に大きな影響を与える。多言語で届けたい相手は誰か、多言語で何を届けたいのか、最低限何が必要かを検討しなければいけない。
- ・整備を行う段階で、多言語化の範囲ややり方を最初から決めなくてはならない。
- ・機械翻訳の場合、言語数は予めパッケージで決まっているので、1 言語追加で〇〇円というわけではない。

(主な意見)

- ・協会の紹介、日本語教室の申込み等はきちんとした翻訳を行い、他のものは、やさしい日本語で作れば英語・中国語くらいで良いと考える。
- ・WEB マスターの渡辺さんのコーナーを設けてもいいのではないかな。
- ・機械翻訳がなくなると費用は少なくなる。
- ・予算のできる範囲でやるのが良い。機械翻訳は無くとも良い。

(決定事項)

- ・HP の進め方は事務局に一任する。
- ・事務局は、WEB マスターの渡辺さんと来年度に向けて調整を図る。
- ・協会設立 35 周年記念事業の冠をつけて、事業を推進していく。

(案 2) 35 周年記念 青少年オンライン交流

- ・大学生 ハイワード SPP

ハイワードの大学生との交流を進める。

東邦大学の国際担当の先生とは話ができる (浦和部会長)

- ・小学生 フランスの子どもたちとオンライン交流

その主旨をきちんと説明を受けそれから検討したい。姉妹都市のようなつながりのない都市との交流を突然協会事業とするのは難しい (一旦、保留とする)。

(案 3) 協会から感謝状贈呈

- ・感謝状は贈呈する
- ・表彰規程を策定する。10 年表彰、20 年表彰等何年ごとに行うのか、表彰の基準も含め、事務局に一任する。
- ・記念式典は、インターナショナルフェスティバルのなかでプチ式典として行う。表彰式を含む。

②その他協会事業について

理解セミナー：今年度と同額を計上

留学生：大学生、高校生とも選考費のみ計上 (令和4年度の派遣は中止)

日本語教室関係：WEB管理費約100万円を計上

その他：外国語教室、災害時外国人支援サポーター研修などは同額を計上

【4】直近のスケジュールについて

①未納団体への督促状を送付（1月31日送付済）

②令和4・5年度新任理事の推薦依頼送付（2月2日送付済）

③3月15日号「広報ふなばし」に日本語教室の学習者募集を載せる（予定）

④協会ニュース発送 3月20日過ぎ予定 協会サロン

⑤ようこそふなばし発送 3月下旬

【5】その他

①団体会員から協会ニュースへの折込チラシ封入依頼があった

内規を作り、募集をする。有料とし、1回あたり6,000円とする。

②事務局から、協会ニュースに「ふなばし情報メール」のチラシの同封について打診があった。

→了承した。

以上